

鎌倉文化

公家や僧の文化 ⇒⇒⇒ 武士の気風が表れる
(飾り気がない力強いもの)

文学

◎ () …… 武士の活躍を生き生きとえがいたもの

『 』… () が節をつけて語る。

◎ 公家の間では、「 」がさかんになる。

『 』… () らがまとめる。

◎ 「 」…… 社会や人生を深くみつめたもの。

『 』… 鴨長明

『 』… 吉田兼好

建築

・ 東大寺南大門 (壮大な) …… () の様式が取り入れられる

・ 円覚寺舍利殿 (簡素な)

彫刻

・ 東大寺南大門の [] …… 運慶ら (写実的で力強い)

絵画

・ () …… 高僧などの伝記や寺の縁起を描いたもの

・ () …… 肖像画

東大寺南大門と金剛力士像

「豪放」という形容がそのままあてはまる力強い木組の南大門。そして激しい忿怒(ひどく怒ること)や隆々とした筋肉で、仏法護持の底知れぬ威力を示す、阿吽一対の金剛力士像。いずれも再興の成った国家鎮護の名刹。13世紀の初めに完成した(1180年東大寺兵火後、重源が南大門を再興した)この建物と彫刻には、東国武士が先頭に立った新時代のたくましい生命力や、みずみずしい創造気運がみごとに集約されている。

円覚寺舍利殿

舍利殿は、1285年ころ創建されたが(1309年創建説もある)、現在の舍利殿は、室町末期の1563年の円覚寺の大火の後、鎌倉尼五山の太平寺仏殿を正統院の昭堂として移建したものである。

舍利殿は、南宋の中央様式に基づく禅宗様のもっとも純粋な遺構である。この禅宗様とは、鎌倉時代初期に禅宗にともなって導入された宋の建築様式で、唐様ともいう。合理的かつ整然とした構造で繊細で装飾的な意匠をもつ。